

Harmony

vol.195

2022 秋号

特集

透析医療に不可欠な

バスキュラーアクセス





ダイアライシス アクセスセンター

血液透析をおこなうためには、透析患者さんの血液を体外に取り出してまた戻すという窓口を作る必要があります。その窓口のことを「バスキュラーアクセス」と呼びます。その管理が不適切になると狭くなったり、詰まったり、感染を起こしたりなど様々なトラブルを起こすことがあります。そしてその機能が不全に陥ると透析に深刻な影響が生じます。いかにバスキュラーアクセスを長持ちさせるかが、透析患者さんのQOL（生活の質）向上に関わる大切な問題となります。当院ではダイアライシスアクセスセンターを設置し、この問題に包括的に取り組んでいます。当センターでおこなわれている手術は9割がシャント修復術となっており、修復困難症例の最後の砦として腎移植を除くすべてのバスキュラーアクセス関連手術をおこなっています。バスキュラーアクセス修復困難症例は岡山県内のみならず、広く中四国から数多くのご紹介をいただいています。

当センターでは2022年6月に手術室を刷新し、7月に造影機器も最新のものに更新して血管造影室も一新しました。新しくなった手術室には自然を感じることができるように窓を設け、また、手術中に好きなジャンルの音楽を聴くことができるようにし、患者さんが少しでもリラックスした気分の中で手術時間を過ごせるように配慮しています。



ダイアライシスアクセスセンター長
外科部長

櫻間 教文

kazufumi sakurama

日本外科学会認定 外科専門医・指導医

日本透析アクセス医学会 VA血管内治療認定医

透析バスキュラーアクセス

インターベンション治療医学会 VAIVT認定専門医

日本医工学治療学会評議員

手術室 2022年6月リニューアル



血管造影室 2022年7月リニューアル



他診療科とも連携したアクセス専門外来

ダイアライシスアクセスセンターは、アクセス専門外来を月・火・水・金曜日に開設しており、患者さんのQOLを考え、内科・歯科と連携し、定期診察、術前・術後の管理を一貫しておこなっています。

初診では、心不全や呼吸器疾患がないか心エコーや呼吸機能検査などをおこない、全身の石灰化の進行具合を確認するために全身CTでの評価も実施しています。

検査で冠動脈疾患や睡眠時無呼吸症候群などが見つかった場合には、内シャント手術に先行して問題疾患を先に治療させていただく場合があります。シャントだけを治せば良いというわけではなく、心肺腎の3臓器同時治療の重要性を考慮して治療方針をたてています。

大切なシャントを守る3ヶ月ごとの定期受診

透析をより長く続けていくためには、一度作製したシャントをできるだけ長く使っていただくことが必要と

なります。しかし、長い年月使用する間にシャントトラブルは避けられないことであり、そのトラブルにも様々なものがあります。中でも最も多いのが狭窄です。狭窄の度合いには個人差がありますが、狭窄を起こした状態で閉塞に移行するまでシャントを使用すると、治療時間が長くなったり入院が必要になったりと、患者さんには負担をかけることになってしまいます。

シャントトラブル防止には、患者さんの自己管理と定期受診がとても重要になってきます。患者さん自身の管理としては、シャント音やシャントの形態の異常を見逃さないように、日頃からご自身でシャントを触診し音を聴き、少しの変化も逃さないということが大切です。

定期受診としては、当院のアクセス専門外来では、3ヶ月に1回の定期受診時にシャントエコーをおこない、シャントトラブルの早期発見・早期治療を心がけています。エコーで、狭窄や閉塞を起こしていることが分かれば予定を組んで治療をさせていただきますが、状況によっては緊急PTA(経皮的血管拡張術)や緊急手術をおこないます。

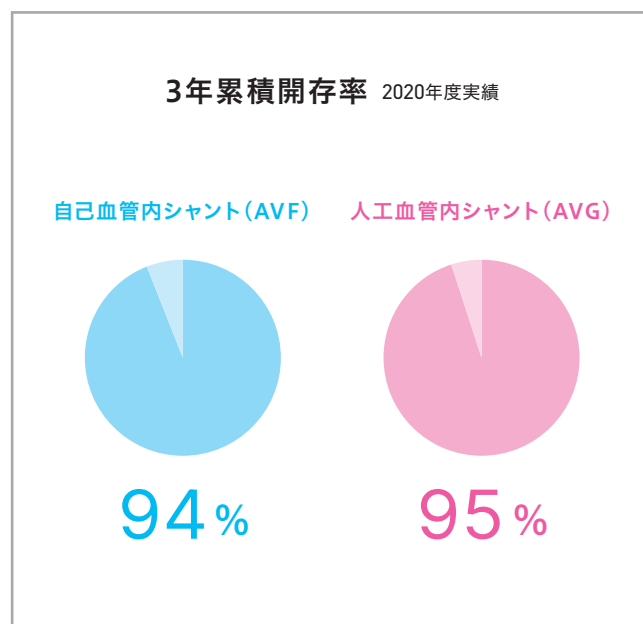


油断できないシャント狭窄・閉塞

シャント作成に際しては、特に術後に手が痛くなったり、潰瘍壊死に陥ったりするスティール症候群が極力生じないような手術デザインにしています。3年累積開存率はAVF、AVGいずれも90%を超えています。またアクセス肢の痛みに対する神経ブロックや内服治療もおこなっております。

シャントの音がしない、音が弱い、そんな場合は、すぐにお問い合わせください。狭窄や閉塞に対する治療としてPTA、溶解療法、血栓除去法を併用し患者さんにあった方法で処置をさせていただきます。必要な方にはステントグラフトを使用して物理的に血管腔を保持し、グラフト部分で再狭窄を防ぐことによりインターベンション治療の開存性の向上が期待されています。当院では、再狭窄率を低減するDCB（ドラッグコーティッドバルーン）を使用したPTAもおこなっています。これは、バルーンに塗布された薬剤「パクリタキセル」をバルーン拡張により血管壁に達させるもので、再狭窄を抑制し再治療の頻度を低

減するとされています。また、発赤、熱感、疼痛、排膿、腫脹が起こったら、すぐに治療が必要な場合があります。感染に関して早急に検査をおこない早期治療を心がけています。シャントの感染か他の感染かを選別し治療をおこなわせていただきます。



シャントが作成できない症例への対応

様々な理由でシャントが作成できない患者さんもおられます。そのような方にはカテーテル挿入により透析をおこなっていただきます。岡山大学研究推進産学管連携機構との共同研究により開発した、清潔野でマーキングできデザイン通りにカテーテルを留置することが可能なカフ型カテーテル事前設定器具を活用し、患者さんに合った負担の少ない部位選択やカテーテル選択をしています。



カフ型カテーテル事前設定器具

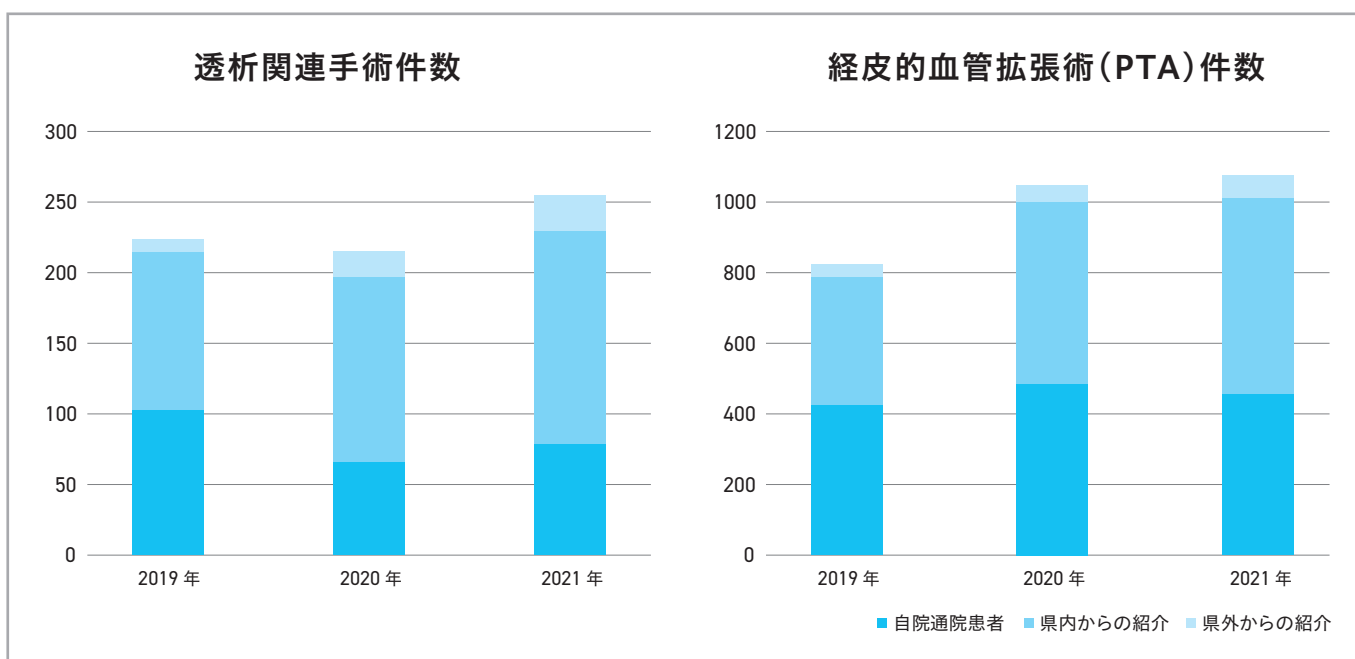
腹膜透析アクセスのご相談もどうぞ

血液透析アクセスに関する症例以外に、腹膜透析アクセスの造設・修復もカテーテル位置異常をおこしにくいデザインでおこなっています。腹膜透析カテーテル留置方法はいくつか術式がありますが、当院ではカテーテル周囲に線維性組織を形成するため

出口部感染が少ないと報告されているSMAP法を採用しています。また、カテーテルの腹壁固定をおこない位置異常が起らないように作成しています。出口部感染が生じた場合でも早期にエコーで感染範囲を診断し、出口部変更術をおこなって腹膜透析の継続ができるようにしています。

ご紹介について

当院は、県内はもとより、中四国の透析施設と連携し県外からも多くのご紹介をいただいています。患者さんに安心して安定した透析医療を受けていただくために、ご希望に沿ったシャント治療をさせていただいています。シャントに不安があり、当院受診を希望される方は、透析管理をされている主治医の先生を通じて予約をうけたまわっております。



最新の生化学・免疫自動分析装置にリニューアル！



6月1日に生化学・免疫自動分析装置が新しくなりました。これまでは別々の分析装置でおこなっていた検査が、より処理能力の高い1台でできるようになりました。

この分析装置には、一度に440検体を投入できます。1時間に1,800テストの処理が可能ですので、測定時間が大幅に短縮する検査項目もあります。微量

検体測定技術により検査に必要な採血量もさらに少なくなります。

この装置では、血液や尿などに含まれるさまざまな成分を測定します。主な項目には、蛋白質、脂質、糖質、AST・ALT・ γ -GTP（肝機能検査）尿素窒素・クレアチニン（腎機能検査）アミラーゼ（膵臓検査）CK・BUN（心臓検査）、甲状腺機能検査、肝炎ウイルス検査、腫瘍マーカーなどがあります。

今回の機器更新に伴い、単位が変更になっている項目があります。検査報告書に基準値を表記しています。検査結果を見る時にご注意ください。

検査結果は疾患の診断・治療の指標となります。これからも正確な検査結果を迅速に提供できるように努めてまいります。

検査についてわからないことがありましたら、いつでもお気軽に職員にお尋ねください。

公開講座「ACP（人生会議）悔いのない生き方を」



9月27日に西ふれあいセンターで開催しました本年度2回目の公開講座では、当院看護部長 川口法子が、これまでに患者さんから学んだ「生きること」、当院が地域の皆さんの生活をサポートする存在であること、穏やかな最期を迎えるための準備が自分らしく生きることにつながる、元気な時にこそ気持ちを伝え合う必要があることなどをお話させていただきました。

なお、川口は10月末を持って退任し、34年余りにわたる当院での勤務を無事に終えました。患者さん・地域の皆さんには長い間支えていただき、ありがとうございました。川口はこの公開講座でも2014年から、「人生100年時代を生きる」をコンセプトに住みなれた地域で安心した日常を送るための知恵について講演させていただきました。地域の皆さんとの繋がりを感じる貴重な時間を過ごさせていただいたことに感謝申し上げます。



外来診察予定表

		月	火	水	木	金	土	
内科	午前	糖尿病 腎臓・肝臓	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎)	大森 一慶 (総・糖・腎)	荒木 俊江 (総・糖)	休 診	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎)	
			大森 一慶 (総・糖)		渡邊 真也 (総)		多田 蘇音 (総・糖)	荒木 俊江 (総・糖)
			渡邊 紗希 (総・腎)		福島 正樹 (腎)		十川 圭司 (総・糖)	渡邊 紗希 (総・腎)
	腎臓	福島 正樹 (腎)(紹介・初診のみ)	瀧 正史 (総・腎)	福島 正樹 (腎)	休 診	福島 正樹 (腎)	福島 正樹 (腎)	
	消化器	藤本さおり (総・消)	西山 仁樹 (消)	山本 直樹 (総・消)	休 診	岡 優子 (総・消)	岡 優子 (総・消) 山本 直樹 (総・消)	
	循環器	—	近藤 直樹 (循)	—	休 診	—	—	
呼吸器	丸川 将臣 (総・呼)	—	—	休 診	—	—		
★総:総合内科 腎:腎臓 肝:肝臓 糖:糖尿病 消:消化器 循:循環器 呼:呼吸器 ★福島正樹への新規ご紹介につきましては予約が必要です								
午後	一般外来	交代医師	交代医師	交代医師	休 診	交代医師	交代医師	
	専門外来 ☎要予約	(糖尿病) 多田 蘇音	(糖尿病・腎臓病) 真鍋/荒木 (呼吸器内科・一般) 丸川 将臣	—		—	—	
健診・検診 ☎要予約		西山 仁樹	西山 仁樹	西山 仁樹	休 診	西山 仁樹	西山 仁樹	
内視鏡検査	午前 (上部消化管) ☎要予約	岡 優子	山本 直樹	藤本さおり	休 診	西山 仁樹	岡山大学医師	
	午後 (下部消化管) ☎要予約	岡 優子	山本 直樹	山本 直樹		藤本さおり	—	
小児科	午前	虫明 亨祐	虫明 亨祐	河野 美奈	休 診	虫明 亨祐	瀧 正史	
		河野 美奈	今村 昌司	今村 昌司		河野 美奈	虫明 亨祐	
午後	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師		交代医師		
小児療育	午前 ☎要予約	今村 昌司	今村/川田	今村/川田		今村 昌司	今村 昌司	
	午後 ☎要予約	今村 昌司	今村/川田	今村/河野/川田		今村 昌司	今村 昌司	
★初診の方は火・水の午前中のみです								
外科	午前	平松 聡	平松 聡	平松 聡	休 診	平松 聡	平松 聡	
ダイヤライシス アクセス 専門外来	午前/午後 ☎要予約	櫻間 教文	櫻間 教文	櫻間 教文		櫻間 教文	—	
★初診の方は月・水・金のみです ★時間外でも可能な限り対応いたしますので電話でお問い合わせください								
泌尿器科	午後 ☎要予約	—	—	—	休 診	岡山大学医師 13:30~16:00	—	
皮膚科	午後	—	太田 知子	太田 知子	休 診	—	—	
眼科	午後	交代医師 第4月曜日13:30~16:00	—	—	休 診	—	—	
脳神経内科	午後 ☎要予約	—	—	—	休 診	—	森 仁	

受付時間

午前 8:30~12:00

午後 13:30~16:30

再診の方は、再来受付機にて8:00より受け付けています

休診日 木曜・日曜・祝日

急病の場合は、あらかじめお問い合わせください

交通のご案内

「重井附属病院」行き終点下車

- 天満屋バスセンターから ▶ 約40分
- 岡山駅東口バスターミナルから ▶ 約30分

- JR庭瀬駅から ▶ 約10分
- JR妹尾駅から ▶ 約10分

140台 当院ご利用の方は、無料

